

オオクボシダ	<i>Micropolypodium okuboi</i> (Yatabe) Hayata	絶滅危惧Ⅱ類
		ヒメウラボシ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が川岸沿いの岩場や樹幹など不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村長昭義) 
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は短く斜上、葉身は狭い披針形から線形、羽状に深裂する。葉面には赤褐色で硬い開出毛をつける。	
生態的特徴	山地の岩上や樹幹でコケに混じって生育する。	
分布状況	本州(関東地方以西)から九州に分布する。岐阜県では県南部の山地に分布するが生育地は少ない。	
減少要因	山林開発、治山工事、岩場の自然崩落、倒木などによる生育地の消失。愛好家による採集圧も考えられる。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。生育に関しては適度な空中湿度が大切であることから、周辺地区の乾燥化を特に注意せねばならない。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成